

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		5/30-6/6	6/6-6/13	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.099	0.083
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.038	0.043
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.018	0.022
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.076	0.044
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.039	0.060
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.045	0.054
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.031	0.071
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.044	0.065

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		5/30-6/6	6/6-6/13	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.042	0.050
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	0.027	不検出
		セシウム137	0.290	不検出

検出限界値はおおむね0.02～0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第87回目  
大気浮遊じん放射能測定結果の解説  
(平成30年5月30日～平成30年6月13日)

平成30年5月30日～平成30年6月13日の間の南相馬市における大気浮遊じんにおける放射性セシウム137濃度は、平均0.05mBq/m<sup>3</sup>と低い値で健康影響が予想される濃度に遠く及ばない値でした。間もなく開催される相馬馬追も、放射線の健康影響という面での心配はありませんので、存分にお楽しみください。